

うたがき

「思いやりと主体性をもって
行動する生徒の育成」

第18号 平成22年10月8日
文責 校長 糸山和男 TEL 84-2411

<校訓> ・正しく
・明るく
・強く

◎ 性教育講演会「食を通していのちを考える」 10月6日

助産師であられる内田美智子先生をお招きして、性教育講演会を本校で開催することができました。先生は白石町に縁があられるようで、今回で3回目の町内講演ということでした。白石町はのどかで落ち着いたある町であり、そこで育った生徒さんだから、良い生徒さんばかりなんだろうねとの印象を語って頂きました。



講演においても、生徒たちへ

- ・みなさんは奇跡の命であり、ご両親の宝物であること。
- ・母が命がけで産んでくれた命だから、自分の命を粗末にはしてはいけない。
- ・これから一人で生きることになる。そのためにもできることはやって欲しい。
- ・いのちをいただいて、いのちをつなぐこと。
- ・食の大切さと家族のつながりの大切さ

など、これまでの助産師をされての経験や事例をあげながら、性と生と食の繋がりを通して、これからの生徒たちへの生き方を示していただきました。

以下生徒たちの感想です。(内容抜粋で)

●あらためて命の大切さ、父母の大切さを感じました。僕は自分で弁当を作っています。たぶん大きくなって食は大丈夫だと思います。でも他にもいろいろなくてははいけません。親にならって困らないようにしたいです。これからは親に世話になると思うけど感謝していきたい。

●食の大切さや親のありがたみを改めて感じました。受験のことや精神的にもイライラして親に当たっていたので、講演会を聞いて申し訳なかったと思いました。でも「生きることが一番の親孝行」と言うことを聞いてちょっと安心。この講演会はこれからの人生に為になりました。ありがとうございました。

●話を聞いて涙が出ました。時々親にいろいろなことをまかせたり、言ったりしてたからです。今度からは仕事で一生懸命働いてくれるから、家で手伝いをし、自分のことは自分でしようと思いました。

●お母さんは私を命がけで産んでくれて、感謝しなければならないのに、きらいとかひどいことばかり言っていた。今度「うんでくれてありがとう」って言うてみようと思います。おじいちゃん、おばあちゃんにも「お世話してくれてありがとう」って恥ずかしいけど言うてみようと思います。

●よくお父さんやお母さんにきつい口調で話していました。が、今回の講演を聞いて、親は大切なんだと改めて思いました。だから今からは「ありがとう」など感謝の言葉を大切にしていきたいと思います。

※このような考えをもった生徒たちが白石中学校の一員であることを嬉しく思います。

※保護者のみなさんも平日にもかかわらず、たくさんの方に来校いただき感謝申し上げます。

○ みんなの表彰

○平成21年度 杵島武雄地区中学校駅伝競技大会

10月5日に福富マイランドコースでありましたが、男女でアベック優勝を果たしました。また、駅伝に先駆けて行われたロードレースでもたくさんの生徒が入賞することができました。

これから県大会での躍進のために、精進努力を続けてください。

・ロードレース男子3km

第2位 黒木 淳 10分10秒、 第3位 久原稔貴 10分12秒、第5位 小林龍哉 10分15秒

・ロードレース女子2km

第2位 山口舞子 7分32秒

・男子駅伝 第1位 白石中(坂本、小鳥井、吉岡、原田、山口)

1時間06分39秒

2区区間賞 小鳥井 健泰 9分30秒

4区区間賞 山下 諒真 10分21秒

5区区間賞 原田 啓 10分05秒

・女子駅伝 第1位 白石中A(平井、川崎、江口、橋本、井上)

42分09秒

第2位 白石中B(横石、喜多、溝口、山口、古田)

42分37秒

1区区間賞 平井見季 10分03秒

2区区間賞 川崎優衣 6分48秒

3区区間賞 江口敦子 7分03秒

3区区間賞 溝口ひらり 7分03秒

4区区間賞 橋本紗希 7分14秒

5区区間賞 井上 彩 11分01秒

